

# 日本原子力学会核燃料部会 平成19年度第三回運営委員会議事録

日時：平成19年 9月28日 10:30～11:50

場所：北九州国際会議場 控室

出席者：(順不同 敬称略)

山本副部会長、安部田委員、寺井委員、山脇委員、磯部委員、伊藤委員、栄藤氏(平井委員代理)、木下委員、佐藤先生(塩川委員代理)、更田委員、杉崎委員、来山委員、三島委員、佐藤委員、高島委員、山田氏、森山委員、溝上氏(阿部委員代理)、儀宝氏(今村委員代理)

## 議事

### 1. 前回運営委員会の議事録案確認

儀宝氏から、資料No.1に基づき、前回運営委員会の議事録案が提示され、了承された。

### 2. 副部会長の交代について

山本副部会長より資料No.2に基づき、副部会長の交代について説明があり、了承された。

### 3. 日本原子力学会「核燃料部会」活動報告及び今後の活動計画案の確認

儀宝氏より、資料No.3に基づき、核燃料部会の総会用資料案が提示された。

以下を口頭で修正することで了承された。

- ・岩田部会長が欠席のため、部会企画セッションプログラムの座長を山脇委員が代理で行うこととなった。
- ・業務担当において山本副部会長が担当しているものについては、19年度下期からは安部田委員が担当することとなった。

### 4. 平成19年度収支予想および平成20年度予算案について

儀宝氏より、資料No.4に基づき、平成19年度収支予想および平成20年度予算案について説明があった。

- ・平成19年度の日韓合同夏の学校への支出は予算に入れることはできなかったのかという意見があったが、2年毎に開催され昨年度は日本開催の予定であったが、韓国側から日本に派遣できないとの連絡があり、急遽、韓国で開催することになったため、支出することになった。
- ・講師の旅費負担はやめてはどうかという意見があった。KAERIからはやめようという提案がすでにきている。

### 5. 3部会合同日韓夏の学校について

山本副部会長より、資料No.5に基づき3部会合同日韓夏の学校について報告があった。

今回、参加者が多数であり、韓国で開催されたにもかかわらず、日本からの出席者および発表者が多かったが、これは、8月だったこともあり、韓国側の最終学年の学生が卒業してしまったためであったとのこと。詳細については冬に報告する予定。

日韓夏の学校について以下の意見があった。

- ・学生には好評であるため、今後も継続して実施すべき
- ・もっと、研究者を呼ぶべき。(基礎的な研究をしている、優れた人たちも多数いる)
- ・原子力材料5部会を含めて開催するのもいい。

### 6. 平成20年「春の年会」企画セッションについて

東北大学・佐藤先生より、口頭で平成20年度「春の年会」企画セッションについて説明があった。

今回は核融合部会が主担当であり、核融合部会でテーマを決め、12月に運営委員会で決定する予定。テーマの提案は佐藤先生まで。

今回は、聴衆が非常に少なく、韓国側に申し訳ない状態であったことから、今後も引き続き開催するのか疑問もある。まず、実施するのかどうか決めた方がよく、核燃料部会から他部会に言った方が良いという意見があった。

#### 7. 平成19年度夏期セミナー報告について

来山委員より、資料No.7に基づき、平成19年度夏期セミナーの報告があった。テキスト集に少数の残部があるが、例年通り、一部5000円で学会事務局に販売をお願いすることになった。

#### 8. 平成20年度夏期セミナー準備状況について

更田委員より、資料No.8に基づき、平成20年度夏期セミナーの準備状況について説明があり、以下の意見があった。

- ・広く学べる内容とするべき、過去の歴史も踏まえた変遷は学生にとっては面白い内容になる
- ・学生には交通費を全額、または半額補助などの援助をすべきではないか。部会の繰越金は早く消化すべきで、補助に使用できないか。
- ・交通費・宿泊費共に高額となる夏季からずらして開催できなか。

#### 9. 部会報(No.43)の企画立案状況報告について

高島委員より、資料No.9に基づき、部会報の企画立案状況について報告があった。

夏版については紙面の都合から、2件分の執筆者のご了解を得た上で冬版に移行すること、冬版の執筆候補者についてインターネットで応募したところ、応募者はなかったことが報告された。

冬版の執筆候補者について議論したところ、数件提案があったため、各委員から候補者へ執筆依頼を行い、その進捗状況を別途、部会報担当より各委員にメールで報告することとなった。また、部会報の各タイトルについては、執筆者の要望に応じて変更する可能性があることが報告された。

さらに、メーリングリストに未登録の方にプリントアウト版を郵送することとなったが、その場合、部会報発行の予算を超過すること、添付文書にてメールアドレスの登録を懇請することが確認された。

#### 10. 第4回日本原子力学会「先進的原子力システムにおける燃料・材料」研究専門委員会報告について

山脇委員より、資料No.10に基づき、第4回日本原子力学会「先進的原子力システムにおける燃料・材料」研究専門委員会の報告があり、特に意見はなかった。

#### 11. その他

次回の運営委員会については、後日メールで確認することとなった。

以上

---

過去の運営委員会議事録の一覧はこちらです。

[過去の運営委員会議事録一覧](#)

[もどる](#)